

FUJI OIL GROUP 2008

第80期 中間報告書 平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

コアビジネスを強化し 海外市場の拡大を加速させます。

不二製油グループは、「おいしさと健康。」を製品開発のキーワードに、グローバルに事業を展開しております。

チョコレート用油脂は、特に需要増が目覚しいBRICsや米国を中心に拡販しています。

業務用チョコレートは、ベルギー・フランダースのプラントが昨年稼働し、アジア・欧州での世界生産体制が整いました。

大豆たん白事業は、健康市場に焦点を当てて、アジア市場での拡販を目指しています。

■株主の皆様へ



代表取締役社長 海老原 善隆

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社グループへ格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第80期の中間期における事業の概況をご報告するにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、総じて回復基調でありましたが、当社グループを取り巻く食品業界におきましては、国内市場の成熟化、原材料価格の高騰、企業間競争の激化など厳しい状況で推移いたしました。

このような事業環境下、当社グループは、原材料価格の高騰に対応した販売価格の改定に取り組むとともに、「三新開発（新製品・新生産技術・新市場）」、「コストダウン」、「提案営業」の推進による拡販とコスト競争力の強化に努

めてまいりました。これらの結果、当中間期は売上高は過去最高となりましたが、原材料価格高騰の影響が大きく利益面では前年同期比減益となりました。

内外の諸情勢から今後とも厳しい事業環境が予想されますが、引き続き販売価格の改定に注力するとともに、コストダウンや高付加価値製品の開発、拡販による収益性の改善に取り組んでまいります。

当社グループは「創造と改革による企業価値の向上」を目指し、事業の再構築による「選択と集中」をより明確にしてまいります。特に成長の期待できる海外事業展開を加速してまいります。

アライアンス戦略では、本年9月に締結いたしました株式会社J-オイルミルズとの業務提携による成果を実現すべく、両社にて検討委員会を組織し、具体的な検討を開始しております。

通期の業績見通しにつきましては、連結売上高2,110億円（前期比14.1%増）、連結営業利益74億円（同4.3%増）、連結経常利益65億円（同0.0%増）、連結当期純利益33億円（同1.3%増）を予定しております。

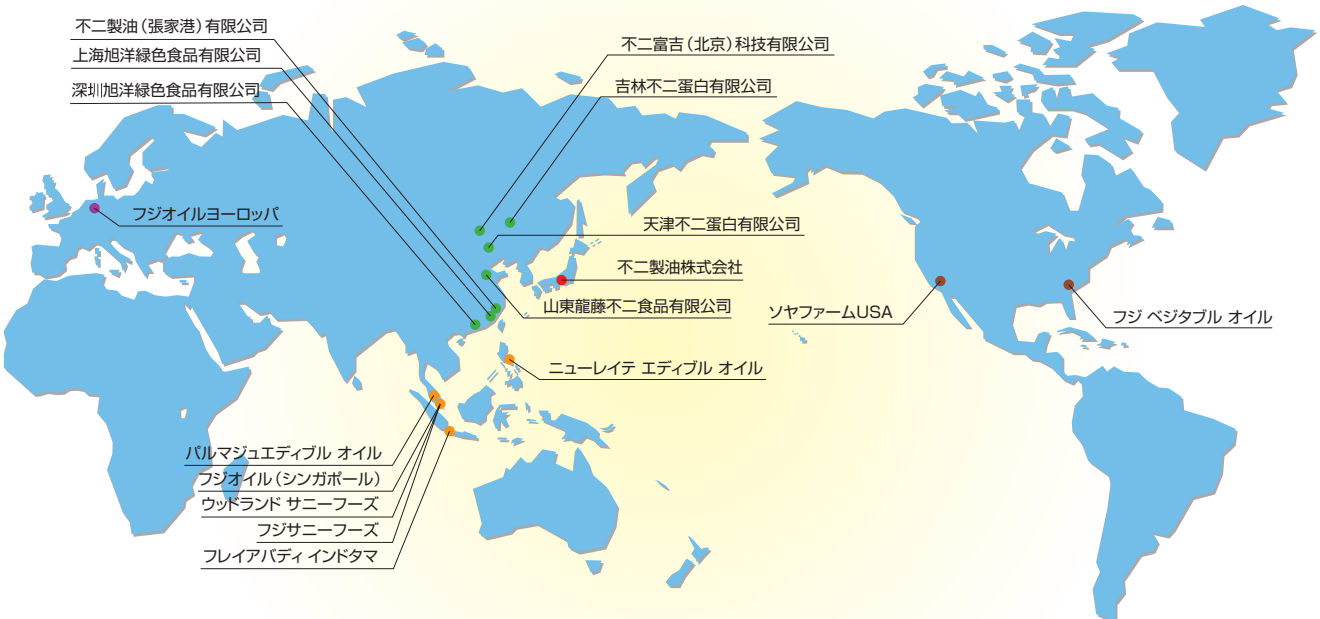
なお、当中間期の配当につきましては、前期中間配当と同様、1株につき7円50銭とさせていただきます。中間配当を含めた年間配当は1株当たり15円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

海外市場の拡大へ向けて

コア製品の拡大で 目指すは世界のオンリーワン企業

不二製油グループの強みは、世界に通用する開発力・生産力・販売力にあります。
そのパワーを結集して海外拠点の拡充を図り、世界の需要に応えています。



Europe

フジ オイル ヨーロッパ

America

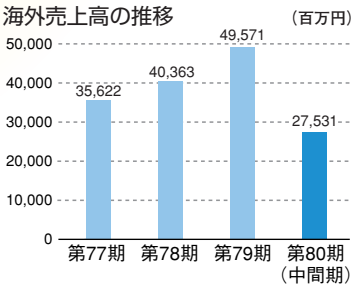
フジ ベジタブルオイル
ソヤファームUSA

Asia

フジ オイル (シンガポール)
バルマジュ エディブル オイル
ウッドランド サニーフーズ
ニューレイテ エディブル オイル
フジサニーフーズ
フレイバディ インドタマ

China

不二製油 (張家港) 有限公司
吉林不二蛋白有限公司
天津不二蛋白有限公司
山東龍藤不二食品有限公司
上海旭洋緑色食品有限公司
深圳旭洋緑色食品有限公司
不二富吉 (北京) 科技有限公司



海外基本戦略

グローバル展開の加速

不二製油グループのグローバル戦略として、海外での生産販売拠点を中心に、さらにグローバル化を進展させていく所存であります。

グローバル展開を加速するため、基本となる方針としては、「コアビジネスの海外展開を加速する」こと、および中国、東南アジアなどの「伸びる市場への事業展開」であります。

成長市場への資源集中

不二製油グループは、海外の成長市場へ資源を集中的に投下することにより事業拡大、強化を行ってまいります。まずは、コアビジネスであるチョコレート用油脂事業、業務用チョコレート事業において、すでに生産拠点のある米国、欧州、東南アジアに加え、シンガポールにおいてチョコレート用油脂製造設備の新設を行う予定であります。これに伴い、世界での需要増加に対応した供給体制を整えてまいります。

販売会社や生産拠点の連携と拡大充実を図り周辺地域・諸国への販売強化

また、中国や東南アジア市場においては、食生活の多様化・洋風化が急激に進んでおり、不二製油グループにとって大きなビジネスチャンスと考えております。特に、乳製品やカカオは、供給が不足し価格が高騰しております。

不二製油グループは、植物性クリーム、チョコレート用油脂製品などの食品中間素材をもっており、これら製品により、お客様への貢献を果たしていけるものと考えております。さらに、日本市場で培った「提案営業」のビジネスモデルを海外市場に移植し、グローバルに展開することで、海外での販売力を強化してまいります。

その一環として、中国市場では販売会社「不二富吉 (北京) 科技有限公司」を本年11月1日に設立いたしました。東南アジア市場においては、シンガポールの販売会社「フジサニーフーズ」を拡充してまいります。これら販売会社と生産拠点の連携をより密にすることで、事業の効率化とスピードアップを図ってまいります。

また、販売力強化のアライアンス戦略も重点戦略として検討を進めてまいります。

アジア市場

食生活の欧米化にともなう需要増に対応するため
アジア市場を2エリアに分けプラザ機能による提案営業を展開。

毎年10%以上の成長率を続けている中国をはじめ、ベトナム、タイ、インドネシアなど、アジア諸国は、その経済的発展により、かつての生産国から消費国へと変わろうとしています。それにともなって食生活の欧米化が急速に進んでおり、乳製品やカカオは大幅な需要増によって品不足状態にあり、高騰している状況です。これは植物性クリームやチョコレート用油脂といった代替製品を有する不二製油グループにとって、まさにビジネスチャンスの到来といえるでしょう。また豊かさの象徴の一つである健康志向の高まりも顕著で、大豆たん白事業が拡大する環境が整ってきました。

そこで不二製油グループは、販売力の強化を図り、アジアを大きく中国圏とそれ以外（東南アジア中心）の2地域に分けて、お客様と共にソフト面での開発を行うプラザを核に、提案営業による売上拡大戦略を本格的に展開してまいります。

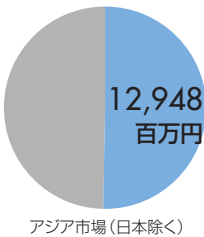
中国市場 世界の工場から巨大な消費市場へ



不二製油（張家港）有限公司

「世界の工場」と言われてきた中国も今は巨大な消費市場になっています。不二製油グループも生産販売拠点の工場設立（不二製油（張家港）、吉林不二蛋白、天津不二蛋白など現在6社）での中国進出を果たしてきました。更に販売体制の強化を目指し、本年11月に独資で販売会社「不二富吉（北京）科技有限公司」を設立いたしました。来年1月から本格的な提案型の営業活動を開始します。特に、中国で今後大きな成長が期待される健康食品市場へ、不二製油グループの技術開発力を活かした高付加価値製品を中心に拡販してまいります。

●平成19年度上期
海外売上高



アジア市場（日本除く）

東南アジア市場 提案営業を海外でも



ウッドランドサニーフーズ

製菓製パン素材を中心に販売してきたフジサニーフーズの陣容を拡大し、東南アジアに持っている生産拠点（ウッドランドサニーフーズ、フジオイル（シンガポール）、パルマジュエディブルオイル、フレイアバディインドタマ）の製品から日本・中国で生産された大豆たん白素材まで東南アジアを中心に拡販し、さらに中東、アフリカまで販売エリアを広げます。フジサニーフーズが持つプラザは提案営業の拠点として、さらにその機能を発揮します。

欧米市場

チョコレート消費最大地域



フジオイルヨーロッパ

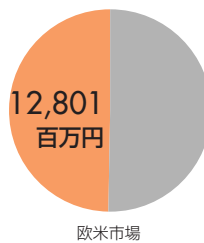
チョコレート工場が稼動を開始いたしました。

また、低トランス酸油脂などの需要が拡大しており、不二製油グループはスペシャリティファットである健康油脂の品質・品揃え・提案力・サービスを向上させることで、さらなる拡販に努めてまいります。

チョコレートにおいては、世界のマーケットは5%ルールが浸透し、チョコレート用油脂の需要が高まっています。欧米市場は、世界最大のチョコレート消費地域であり、不二製油グループの拡販余地の大きな市場です。

市場での優位性の鍵を握る生産体制については、米国のフジベジタブルオイルに2004年5月 チョコレート用油脂工場が稼動し、EU市場では、フジオイルヨーロッパに2006年11月 業務用チョコレート工場が稼動を開始いたしました。

●平成19年度上期
海外売上高



欧米市場

スペシャリティファット、業務用チョコレートの需要の高まり



フジベジタブルオイル

BRICs、アジア諸国での経済発展に伴い、世界各地で食生活の欧米化が急速に進んでいます。不二製油グループが製造販売するチョコレート用油脂は、主に、中国、ロシア、米国市場での需要拡大が期待されます。その中、不二製油グループは、需要の高まりに対し、日本、米国では生産拠点の能力拡充を図るとともに、シンガポールの生産販売会社 フジオイル（シンガポール）にチョコレート用油脂工場を新設いたします。当工場の稼動は2009年1月を予定しています。成長への基盤を整備し、世界的な需要増というチャンスを実に握りとり、スペシャリティファットの世界No.1を目指します。

また、世界的に市場が拡大しているチョコレートへの期待は大きく、油脂からチョコレートまで生産する大手企業は不二製油グループのみであり、大きな強みです。

長期的視野に立ち、業務用チョコレートでは世界市場で更なる飛躍を目指します。

平成20年3月期連結「上期業績」と「通期見通し」

連結決算 上期

(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

原材料価格の高騰に対応した販売価格の改定に取り組むとともに、「三新開発（新製品・新生産技術・新市場）」、「コストダウン」、「提案営業」の推進による拡販とコスト競争力の強化に努めました。これらの結果、売上高は、中間期過去最高を更新しました。一方利益面では、原材料高騰を新製品・新素材等の拡販およびコストダウンによりカバーするに至らず減益となりました。

油脂事業

- 国内では、パーム油関連製品を中心にマーケティングの強化と拡販に努めました。利益面では原料高騰の影響等により減益となりました。
- 海外では、特に欧米市場でチョコレート用油脂やトランス酸対応等のスペシャリティ製品が好調に推移しました。

製菓・製パン素材事業

- 素材チョコレートは提案営業による新市場・新用途向けで売上は伸長しました。
- クリーム類は、おいしさ維持機能製品などの新製品が好調に推移しました。
- マーガリン・ショートニング類、フィリング類は市場の停滞に加え、原料高騰により厳しい状況でした。

大豆たん白事業

- 大豆たん白素材は、食肉、水産市場の需要停滞等の影響により減益となりました。
- 食品機能剤では、米飯・調理麺市場向けは需要停滞の影響を受け、厳しい状況でしたが、飲料市場向けでは順調に伸長しました。
- 豆乳は、市場の縮小、競争の激化により売上高、利益ともに前年同期を下回りました。

単位：億円

	平成19年度上期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）			平成19年度通期見通し（平成19年4月1日～平成20年3月31日）		
	平成19年度 上期	ご参考		平成19年度 通期見通し	ご参考	
		前年同期 平成18年4月1日～平成18年9月30日	対前年同期増減率		前期 平成18年4月1日～平成19年3月31日	対前期増減率
売上高	981	883	11.2%	2,110	1,849	14.1%
営業利益	22	30	△26.2%	74	70	4.3%
経常利益	19	27	△26.7%	65	64	0.0%
中間(当期)純利益	10	13	△21.3%	33	32	1.3%

(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

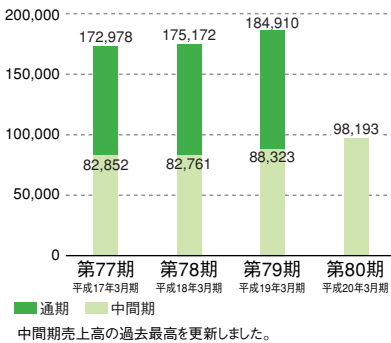
平成19年度下期の重点取り組み

- 原材料高騰に対する継続的な価格改定の推進を行う。
- 大豆たん白部門の改革を実行し、「選択と集中」による利益改善を行う。
- 「海外展開の加速」として、チョコレート用油脂の世界戦略の推進およびアジア市場での積極展開を行う。

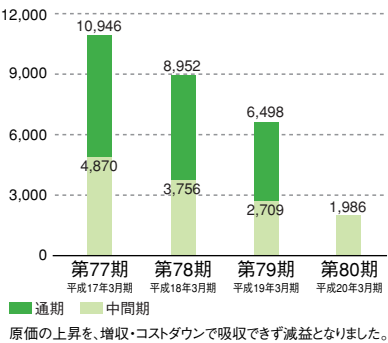
将来見通しに関する注意事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

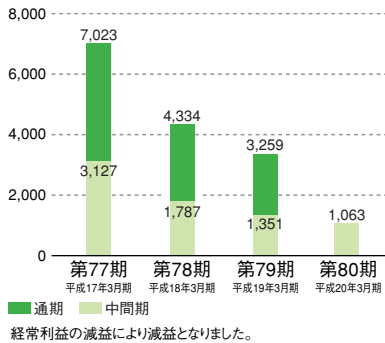
売上高(百万円)



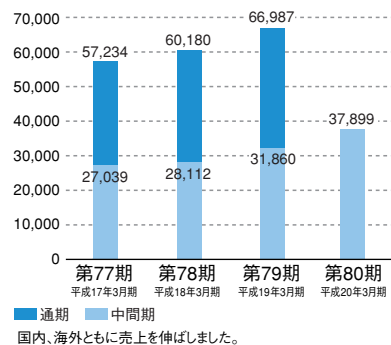
経常利益(百万円)



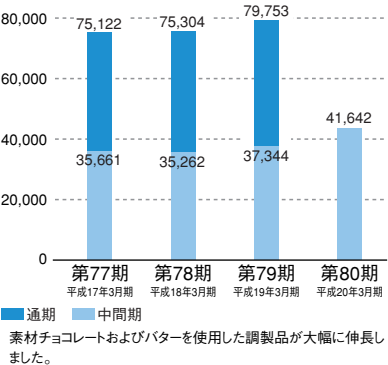
中間(当期)純利益(百万円)



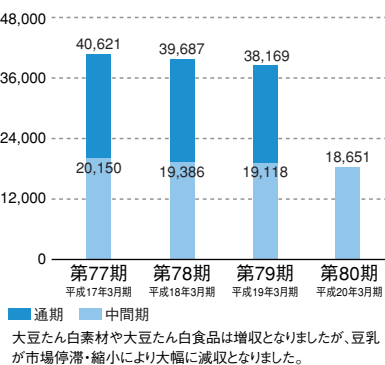
事業別売上高(百万円)
(油脂事業)



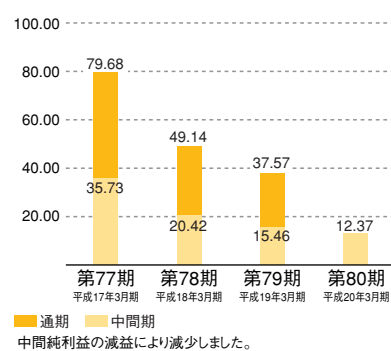
(製菓・製パン素材事業)



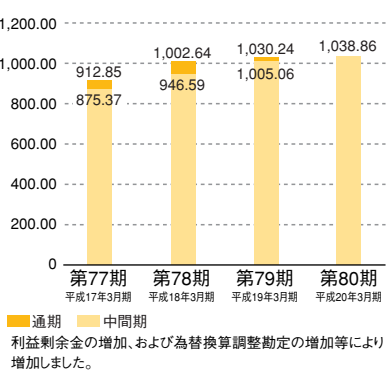
(大豆たん白事業)



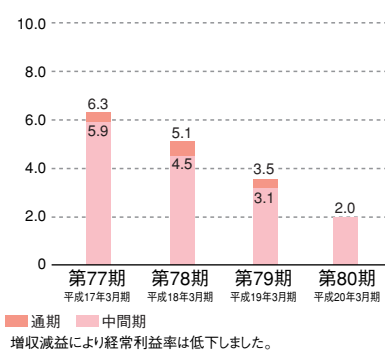
1株当たり中間(当期)純利益(円)



1株当たり純資産(円)



売上高経常利益率(%)



連結貸借対照表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	科 目	当中間期末 (H19.9.30現在)	前中間期末 (H18.9.30現在)	前期末 (H19.3.31現在)
	資産の部			
	流動資産	78,340	67,144	68,893
	現金及び預金	3,536	6,247	4,953
1	受取手形及び売掛金	37,763	32,862	33,307
	有価証券	—	152	—
1	たな卸資産	32,861	23,926	26,498
	その他	4,178	3,955	4,134
	固定資産	112,351	112,894	112,694
	有形固定資産	97,867	95,792	95,995
	建物及び構築物	36,808	34,963	35,723
	機械装置及び運搬具	41,334	41,199	41,500
	土地	15,635	15,209	15,229
	建設仮勘定	2,322	2,756	1,750
	その他	1,765	1,663	1,791
	無形固定資産	1,258	1,157	1,219
	投資その他の資産	13,225	15,945	15,479
	投資有価証券	10,784	12,444	12,098
	その他	2,441	3,501	3,380
	繰延資産	32	—	—
	資産合計	190,725	180,039	181,587

	科 目	当中間期末 (H19.9.30現在)	前中間期末 (H18.9.30現在)	前期末 (H19.3.31現在)
	負債の部			
	流動負債	64,625	56,087	56,784
	支払手形及び買掛金	16,975	16,616	17,900
2	短期借入金	31,172	22,308	22,848
2	コマーシャル・ペーパー	5,000	3,000	3,000
	一年内償還予定社債	20	20	20
	一年内返済予定長期借入金	2,083	2,548	2,395
	未払法人税等	522	1,340	1,938
	賞与引当金	1,524	1,709	1,389
	役員賞与引当金	—	—	30
	その他	7,327	8,542	7,261
	固定負債	32,317	32,599	32,121
	社債	10,130	10,150	10,140
	長期借入金	16,786	15,976	16,178
	退職給付引当金	1,235	1,953	1,592
	役員退職慰労引当金	326	300	332
	その他	3,838	4,218	3,877
	負債合計	96,943	88,687	88,905
	純資産の部			
	株主資本	86,012	85,402	85,662
	資本金	13,208	13,208	13,208
	資本剰余金	18,324	18,324	18,324
	利益剰余金	56,211	54,604	55,860
	自己株式	△1,731	△735	△1,730
	評価・換算差額等	3,301	1,932	2,911
	その他有価証券評価差額金	2,865	4,044	3,498
	繰延ヘッジ損益	△72	30	△1
	為替換算調整勘定	507	△2,142	△586
	少数株主持分	4,467	4,017	4,108
	純資産合計	93,781	91,352	92,682
	負債純資産合計	190,725	180,039	181,587

(単位：百万円)

科 目	当中間期末 (H19.9.30現在)	前中間期末 (H18.9.30現在)	前期末 (H19.3.31現在)
負債の部			
流動負債	64,625	56,087	56,784
支払手形及び買掛金	16,975	16,616	17,900
短期借入金	31,172	22,308	22,848
コマーシャル・ペーパー	5,000	3,000	3,000
一年内償還予定社債	20	20	20
一年内返済予定長期借入金	2,083	2,548	2,395
未払法人税等	522	1,340	1,938
賞与引当金	1,524	1,709	1,389
役員賞与引当金	—	—	30
その他	7,327	8,542	7,261
固定負債	32,317	32,599	32,121
社債	10,130	10,150	10,140
長期借入金	16,786	15,976	16,178
退職給付引当金	1,235	1,953	1,592
役員退職慰労引当金	326	300	332
その他	3,838	4,218	3,877
負債合計	96,943	88,687	88,905
純資産の部			
株主資本	86,012	85,402	85,662
資本金	13,208	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324	18,324
利益剰余金	56,211	54,604	55,860
自己株式	△1,731	△735	△1,730
評価・換算差額等	3,301	1,932	2,911
その他有価証券評価差額金	2,865	4,044	3,498
繰延ヘッジ損益	△72	30	△1
為替換算調整勘定	507	△2,142	△586
少数株主持分	4,467	4,017	4,108
純資産合計	93,781	91,352	92,682
負債純資産合計	190,725	180,039	181,587

連結損益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目		当中間期 (H19. 4. 1 から H19. 9. 30まで)	前中間期 (H18. 4. 1 から H18. 9. 30まで)	前 期 (H18. 4. 1 から H19. 3. 31まで)
3	売上高	98,193	88,323	184,910
	売上原価	80,846	70,513	148,078
	売上総利益	17,347	17,810	36,832
	販売費及び一般管理費	15,069	14,726	29,737
	営業利益	2,277	3,083	7,095
	営業外収益	585	379	818
	営業外費用	877	754	1,414
	経常利益	1,986	2,709	6,498
	特別利益	—	—	1,562
	特別損失	143	243	2,104
	税金等調整前中間（当期）純利益	1,842	2,465	5,956
	法人税、住民税及び事業税	395	1,001	2,604
	法人税等調整額	338	52	2
	少数株主利益	45	59	90
	中間（当期）純利益	1,063	1,351	3,259

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (H19.4.1 から H19.9.30まで)	前中間期 (H18.4.1 から H18.9.30まで)	前 期 (H18.4.1 から H19.3.31まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,448	4,386	10,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,367	△4,778	△10,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,947	2,297	216
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	17	162
現金及び現金同等物の増減額（△減少額）	△1,791	1,923	618
現金及び現金同等物の期首残高	4,924	4,305	4,305
新規連結子会社の現金及び現金同等物期首残高	356	—	—
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	3,489	6,228	4,924

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 受取手形及び売掛金／たな卸資産

主に売上高増加に伴う増加であります。

POINT 2 短期借入金／コマーシャル・ペーパー

主に運転資金の増加による借入調達が増加したことによるものです。

POINT 3 売上高

中間期売上高の過去最高を更新しました。

連結株主資本等変動計算書

連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間（H19.4.1からH19.9.30まで）											(単位：百万円)	
科 目	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成19年3月31日 残高	13,208	18,324	55,860	△1,730	85,662	3,498	△1	△586	2,911	4,108	92,682	
中間連結会計期間中の変動額												
剰余金の配当			△644		△644						△644	
中間純利益			1,063		1,063						1,063	
自己株式の取得				△0	△0						△0	
連結子会社の増加に伴う減少			△68		△68						△68	
株主資本以外の項目の中間連 結会計期間中の変動額（純額）						△632	△70	1,094	390	359	749	
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	350	△0	349	△632	△70	1,094	390	359	1,099	
平成19年9月30日 残高	13,208	18,324	56,211	△1,731	86,012	2,865	△72	507	3,301	4,467	93,781	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位：百万円)			
科 目	当中間期末 (H19.9.30現在)	前中間期末 (H18.9.30現在)	前期末 (H19.3.31現在)
資産の部			
流動資産	47,181	40,206	42,747
固定資産	97,425	103,598	99,581
有形固定資産	57,178	60,327	58,481
無形固定資産	747	682	729
投資その他の資産	39,499	42,588	40,370
資産合計	144,606	143,804	142,328
負債の部			
流動負債	36,643	31,204	32,337
固定負債	23,047	24,621	24,642
負債合計	59,691	55,825	56,979
純資産の部			
株主資本	82,166	83,967	81,911
資本金	13,208	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324	18,324
利益剰余金	52,365	53,169	52,109
自己株式	△1,731	△735	△1,730
評価・換算差額等	2,748	4,011	3,437
その他有価証券評価差額金	2,820	3,980	3,438
繰延ヘッジ損益	△72	30	△1
純資産合計	84,915	87,978	85,348
負債純資産合計	144,606	143,804	142,328

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)			
科 目	当中間期 (H19.4.1 から H19.9.30まで)	前中間期 (H18.4.1 から H18.9.30まで)	前 期 (H18.4.1 から H19.3.31まで)
売上高	58,399	52,644	110,521
売上原価	48,789	41,271	87,506
売上総利益	9,609	11,372	23,014
販売費及び一般管理費	8,351	8,717	17,380
営業利益	1,258	2,654	5,634
営業外収益	764	687	1,632
営業外費用	529	458	853
経常利益	1,492	2,884	6,412
特別利益	—	—	1,682
特別損失	86	231	1,482
税引前中間（当期）純利益	1,405	2,652	6,613
法人税、住民税及び事業税	232	849	2,313
法人税等調整額	273	80	2,986
中間（当期）純利益	900	1,722	1,313

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

当中間会計期間（H19.4.1からH19.9.30まで）

株主資本等変動計算書															当中間会計期間（H19.4.1からH19.9.30まで）		(単位：百万円)	
科 目	株主資本										評価・換算差額等				純資産 合計			
	資本金	資本剰余金		利益剰余金						自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・ 換算 差額等 合計				
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金				利益 剰余金 合計									
					買換資産 積立金	配当準備 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金										
平成19年3月31日 残高	13,208	18,324	18,324	2,017	258	2,250	32,000	15,582	52,109	△1,730	81,911	3,438	△1	3,437	85,348			
中間会計期間中の変動額																		
剰余金の配当								△644	△644		△644				△644			
中間純利益								900	900		900				900			
自己株式の取得										△0	△0				△0			
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額（純額）												△617	△70	△688	△688			
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	—	255	255	△0	255	△617	△70	△688	△433			
平成19年9月30日 残高	13,208	18,324	18,324	2,017	258	2,250	32,000	15,838	52,365	△1,731	82,166	2,820	△72	2,748	84,915			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

(平成19年9月30日現在)

発行可能株式総数	357,324,000株
発行済株式の総数	87,569,383株
株主数	25,154名
1人当たりの平均所有株数	3,481株

大株主

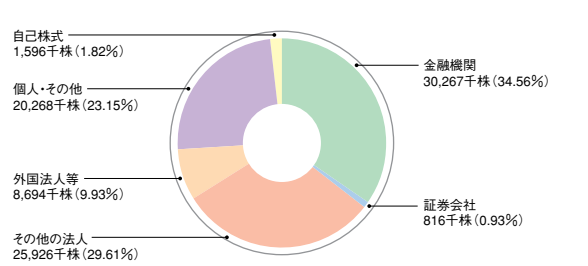
(平成19年9月30日現在)

株主名	持株数（千株）	出資比率（％）
伊藤忠商事株式会社	17,609	20.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,623	4.2
野村信託銀行株式会社（信託口）	3,127	3.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,126	3.6
日本生命保険相互会社	2,845	3.3
東京海上日動火災保険株式会社	2,828	3.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	2,009	2.3

出資比率は自己株式（1,596,090株）を控除して計算しております。

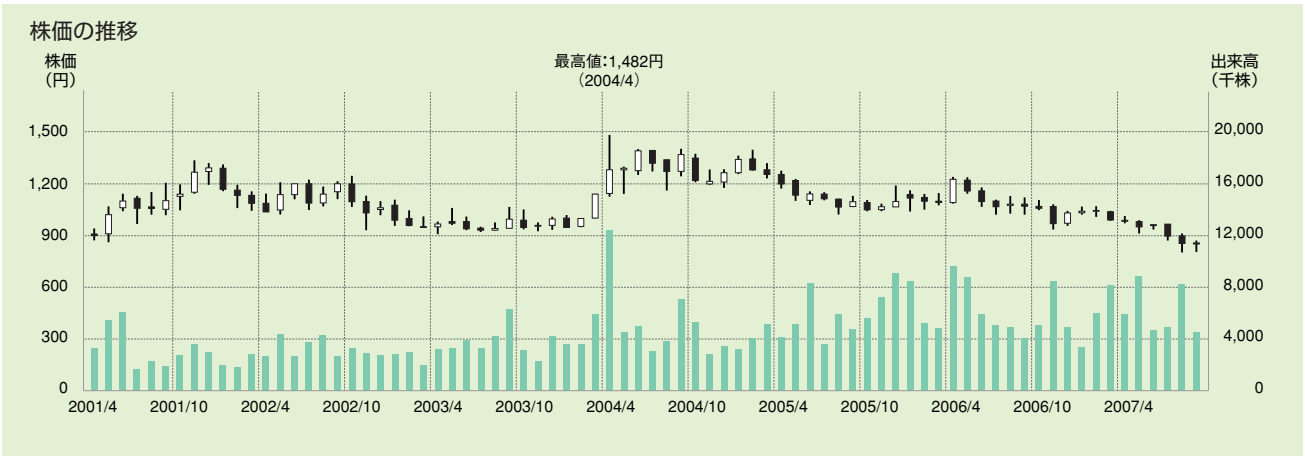
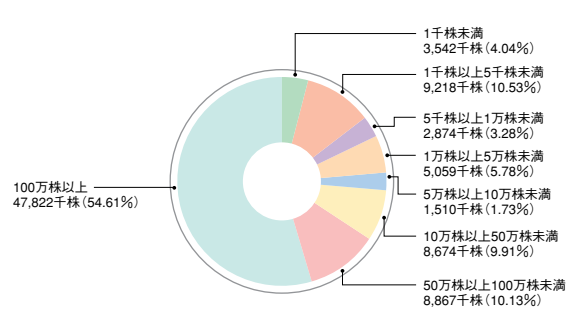
所有者別分布状況

(平成19年9月30日現在)



所有株数別分布状況

(平成19年9月30日現在)



会社概要 (平成19年9月30日現在)

創 立	1950年（昭和25年）10月
資 本 金	13,208百万円
代 表 者 名	代表取締役社長 海老原 善隆
連 結 売 上 高	98,193百万円
連 結 経 常 利 益	1,986百万円
連 結 総 資 産	190,725百万円
単 体 売 上 高	58,399百万円
単 体 経 常 利 益	1,492百万円
単 体 総 資 産	144,606百万円
全グループ従業員数	3,429名
不二製油従業員数	1,076名

役員 (平成19年9月30日現在)

取 締 役 会 長	浅 原 和 人
代表取締役社長	海 老 原 善 隆
代表取締役副社長	河 部 博 国
専 務 取 締 役	森 弘 之
常 務 取 締 役	片 山 務
常 務 取 締 役	寺 嶋 正 彦
常 務 取 締 役	岡 本 和 三
常 務 取 締 役	山 中 敏 正
取 締 役	岩 朝 央
取 締 役	高 木 茂
取 締 役	寺 西 進
取 締 役	清 水 洋 史
取 締 役	中 村 修
取 締 役	小 林 誠
取 締 役	前 田 裕 一
取 締 役	青 木 芳 久
常 勤 監 査 役	南 廣 次
常 勤 監 査 役	岩 崎 励 自
監 査 役	松 本 耕 一
監 査 役	佐 藤 浩 雄

主要海外グループ会社 (平成19年9月30日現在)

フジ オイル（シンガポール）
ウッドランド サニーフーズ
フジ サニーフーズ
パルマジュ エディブル オイル
フジ ベジタブル オイル
ソヤファームUSA
フジ オイル ヨーロッパ
ニューレイテ エディブル オイル
フレイアパディ インドタマ
不二製油（張家港）有限公司
吉林不二蛋白有限公司
山東龍藤不二食品有限公司
天津不二蛋白有限公司
上海旭洋綠色食品有限公司
深圳旭洋綠色食品有限公司

主要国内グループ会社 (平成19年9月30日現在)

トーラク 株式会社
フジフレッシュフーズ 株式会社
フジ プロテイン テクノロジー 株式会社
ケイ・ピー食品 株式会社
ワルツファンシー 株式会社
不二バター 株式会社
株式会社 フクシヨク
今川 株式会社
ソヤファーム 株式会社
株式会社 エフアンドエフ
株式会社 阪南タンクターミナル
千葉ベグオイルタンクターミナル 株式会社

TOPICS

中国に販売会社を設立

中国国内におきまして、大豆たん白素材の販売会社を本年11月に設立しました。さらなる中国国内の販売強化を図るとともに、より積極的かつ効率的な販売体制を構築し、アプリケーション技術を中心とした提案営業を推進するため、吉林不二蛋白有限公司、天津不二蛋白有限公司の販売機能の一部をこの販売会社に移管します。来年1月に営業開始の予定です。

【新会社概要】

社 名：不二富吉(北京)科技有限公司
英文名称：Fuji Oil (Beijing) Technology Trading Co., Ltd.
代 表 者：董事長 岩朝 央
総経理 清水 洋史
事業内容：粉末状大豆たん白、大豆ペプチド、大豆多糖類の中国国内販売

業務用加工食品ヒット賞を受賞

株式会社日本食糧新聞社が主催する、業務用加工食品ヒット賞の給食・惣菜部門に、当社の「冷凍絹厚揚げ」が選ばれました。この賞は、外食業務用食品メーカー、流通業界の活性化を図るとともに、業務用商品の地位向上を目指して選考されます。



J-オイルミルズと業務提携および株式相互保有

当社と株式会社J-オイルミルズは、業務提携および株式相互保有に関する基本契約の締結を行いました。この業務提携は、厳しい市場環境の中で双方にとって競争力強化が見込まれる分野に関し、強みを出し合うとともに弱みを補完し、双方の国際協力の強化を目的としています。骨子は①原料・資材の効率の調達②中間原料油の相互供給③相互の生産設備の有効活用④物流業務の効率化⑤その他、双方にメリットのある取り組みを具体化してまいります。

株式のご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月開催
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈郵便物送付先〉 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈電話照会先〉 [住所変更等用紙のご請求] ☎0120-175-417
[その他のご照会] ☎0120-176-417
〈インターネットホームページURL〉 <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
同 取 次 所 住友信託銀行株式会社全国各支店
1 単 元 の 株 式 数 100株
公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
上 場 証 券 取 引 所 東京・大阪
証 券 コ ー ド 2607

株式の事務手続きについては、上記株主名簿管理人あてにご照会ください。
なお、証券保管振替機構（ほふり）をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



FUJI OIL CO., LTD.

<http://www.fujioil.co.jp>



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています。



本紙は再生紙（古紙パルプ100%）、大豆油インキを使用しています。